

# 漁海況情報

平成 23 年 9 月 20 日 第 18 号 (通巻 486 号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎 2861-3

TEL:0837-26-0711 FAX:0837-26-1042 Mail:a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

海鳴りネットワーク :<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

## 【カタクチイワシシラス漁況予報】

山口県日本海側沿岸の秋季におけるカタクチイワシシラス漁は、平年よりもやや遅れ 10 月下旬に本格化し、漁獲量は「平年を上回る」でしょう。

### <予測の考え方>

これまでの研究により、山口県沿岸における秋季のシラス漁は、以下の項目に関係していると考えられます。

- 1) カタクチイワシ秋生まれ群の産卵量
- 2) 山口県への輸送条件 (対馬海流の勢力)
- 3) 沿岸漁場 (湾内) への輸送条件
- 4) 操業条件

### <予測の根拠>

#### 1) カタクチイワシ秋生まれ群の産卵量

カタクチイワシの親魚が多ければ産卵量も多く、シラス漁にプラスに作用すると考え、7~8 月のカタクチイワシ親魚漁獲量と 9~12 月の秋シラス漁獲量との間に有意な正の相関がある (図 1) ことを利用しました。

本年の親魚漁獲量は、平年 (792kg/隻・日) よりも大きい値 (939kg/隻・日) のため、秋シラス漁獲量も平年 (83kg/隻・日) を上回る (93kg/隻・日) と考えられます。

#### 2) 山口県への輸送条件 (対馬海流の勢力)

対馬海峡東水道を通過する対馬海流の勢力が強いときには、山口県沿岸に多くのシラスが輸送されると考え、対馬海峡東水道の流量と萩沖水温との間に有意な正の相関があることを利用しました。

本年 7 月の平均水温は平年並み (-0.03℃)、8 月は平年より 0.4℃高めで推移し、9 月上旬には 1.3℃高めになっています。そのため、流量は平年並み~やや多めで、本県への輸送条件はやや良いと考えられます。

### 3) 沿岸漁場（湾内）への輸送条件

過去の研究から、漁場水温 23°Cが盛漁期の目安になると考えられます。通定置網に設置した水温自動観測ブイによると、9月15日現在の水温は26.9°Cで、盛漁期の目安となる水温に比べ、3.9°C以上も高めです。

JADE（日本海海況予測システム）によると、山口県沿岸が 23°Cになるのは、10月下旬（図2）です。したがって、シラス漁の盛漁期は、例年よりやや遅れ10月下旬になると予想されます。

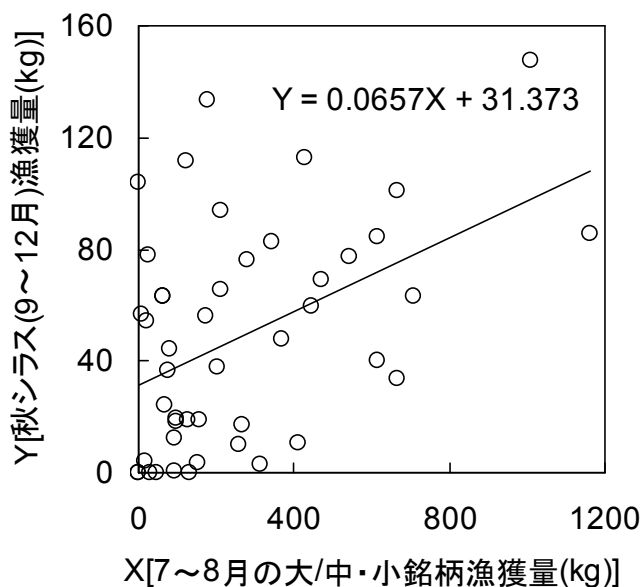


図1 親魚と秋シラスの相関図

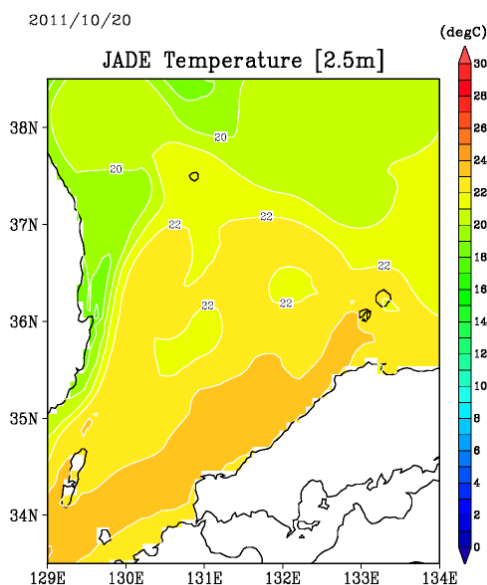


図2 JADE（日本海海況予測システム）による10月20日の水温分布の予想図

### 4) 操業条件

気象庁の3ヶ月予報などから、台風などの大型低気圧の本県への接近個数は多くないと判断し、操業面へのマイナス要因は少ないと考えました。

以上の条件などを参考に判断し、秋季のシラス漁獲量については、平年を上回り、盛漁期は10月下旬になると予想しました。